法人初年度の今期、手探りではありましたが、ボランティアー同走りに走ってまいりました。ご支援して頂いた皆様、関係者の皆様にAnnual Report をご報告させて頂きます。今後ともご支援ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。理事長　澤田政明

活動主旨：特定非営利活動法人セカンドハーベスト京都（以下２HK）は２０１５年の活動開始以来、企業あるいは個人の皆様から「商品としては扱えないが安全に食べられる」ものや「家庭の余剰食品」を無償で譲り受け、それを支援を必要とする人たちを支える生活困窮者支援団体や福祉施設などにボランティアの手で無償でお届けするフードバンク事業と「子ども食堂」の立ち上げ時や運営の相談のために「子ども食堂」支援室を設けで活動をしております。

１．フードバンク事業

食品の流れ

食品メーカー
小売業・卸売業
家　　庭
防災備蓄品

2HKYOTO
＊情報を集める
＊食品を集める
＊食品を仕分ける
＊マッチングする
＊食品を配送する

生活困窮者支援団体
社会福祉協議会
福祉施設等
子ども食堂

要支援世帯

（１）食品提供者

①法人団体：３６　　②個人送付：４５名　　③フードドライブ：６回

（２）フードドライブ実施または協力開催

5月5日　中京区地域ごみ減量推進会議
「おさがり広場ともっぺん広場」
9月28日　NPO法人コンシューマーズ京都
「京都消費者大会」
9月30日　京都サンガＦ．Ｃ．ＶＳ
ジェフユナイテッド千葉戦
10月8日　京都生活協同組合コープパリティー
10月29日 中京区ふれあいまつり出展
11月4日　京都生活協同組合コープパリティー
11月26日 生活協同組合生活クラブ京都エルコープ
「ごちそうフェスタ」

※「フードドライブ」とは各家庭で食品を持ち寄り、まとまった食品をフードバンクや福祉施設などに寄贈する活動です。

（3）食品取扱量　１４ｔ　　（初年度より1.4倍に増加）

月別輸送量（単位ｋｇ）

2016年12月	1,240	2017年6月	969
2017年1月	848	2017年7月	1,030
2017年2月	2,366	2017年8月	854
2017年3月	2,723	2017年9月	1,161
2017年4月	805	2017年10月	810
2017年5月	743	2017年11月	499

総走行距離：11,238ｋｍ

（4）食品届け先　６１団体施設　　述べ利用者数：約13,000名

生活困窮者支援団体	5	訪問介護サービス	2
児童養護施設	9	母子生活支援施設	3
生活支援施設	2	子ども食堂	35
自立援助ホーム	1	社会福祉協議会	1
行　　政	2	DV支援施設	1

◆各団体施設の利用者さんの声

子にとっては、普段パンを買い与えないので、いつもカレンダーとにらめっこしながら、『パーベストの日』を楽しみにしている。家族にとってなくてはならないイベントのようなものになっている。

３０代２児の母

めっちゃ助かります。
美味しいパンがタタいし小腹すいた時とかサッに食べたり色んな面で助かってます。

２０代２児の母

子どもが食べ盛りなので、食費がどんどん上がってて助かってます。子どもたちもよろこんで、私が買えない食品もあるので、とても喜んで食べてます。

３０代２児の母

（5）ボランティア　延べ人数：３０８名　活動延べ時間：１３１２時間

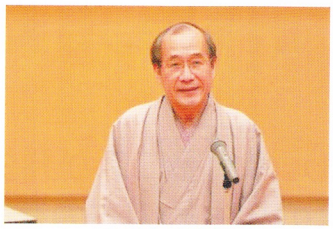
雨の日も風の日も雪の日も休むこと無くフードバンク部の多くのボランティアによって活動が支えられています。
あるボランティアは「困っている人たちの役に立ちたい」またある人は「自分のわずかな時間で多くの人に喜んでもらえるのでやりがいがあります」など、大学生から６０代の方まで活動の輪は拡がっています。

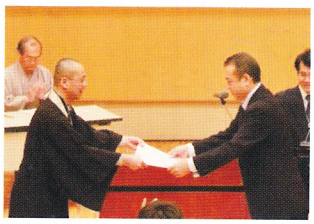
2．京都「フードバンク」シンポジウム　の開催

２HKがNPO法人化することを記念し『 京都「フードバンク」シンポジウム 』を開催しました。フードロスの削減とフードセーフティネットの構築を目指すフードバンクの可能性を探るために多彩なゲストスピーカーを京都にお招きしました。

開催日時：１月２７日（金）　１３時３０から
会　　場：ひと・まち交流館京都２F　大会議室
主　　催：NPO法人セカンドハーベスト京都　　後　　援：京都市　京都府
後援助成：（公財）京都オムロン地域協力基金　（公財）京都新聞社会福祉事業団

理事長　澤田よりご挨拶


来賓ご挨拶
京都市長　門川大作様


日頃の感謝を込めて
感謝状贈呈

おてらおやつクラブ
事務局長 桂浄薫様

農林水産省食品産業環境対策室
室長 河合亮子様

京都大学地球環境学堂
准教授 浅利美鈴様

社会福祉法人宏量福祉会
理事長　芹沢出様

NPO法人フードバンクかごしま
理事長 原田一世様

NPO法人フードバンク茨城
理事長 大野覚様

参加者からの質問に答える

鹿児島や茨城など遠隔地
からもお越し頂きました

全てボランティアで運営
しました。お疲れ様でした。

ご参加頂いた皆様は府内のみならず、関西一円からお集まり頂き、目標の1.5倍１５０名を超えるご参加を頂き、多くの方々に「フードバンク」を知って頂ける機会になり、成功裡に終了致しました。

３．「子ども食堂」支援事業

（１）相談件数：１０件
（２）運営支援：３団体
（３）活動ボランティア：１３名
（４）京都「子ども食堂」交流会の開催
日頃お互いに顔をあわせることのない「子ども食堂」運営団体同士の交流を目的に山科青少年活動センターと共同で開催。京都府の助成事業の説明も実施。

【日曜昼の部】実施日時：２０１７年４月２３日　13:30～15:30
参加団体：７団体　１４名　会場：中京区青少年活動センター
【週末夜の部】実施日時２０１７年５月１６日　18:30～20:30
参加団体：９団体　１７名　会場：中京区青少年活動センター

4月23日 日曜昼の部

5月16日 平日夜の部

４．２HKの今後の課題

（１）食品の確保
京都府内では１４万トン（２HK推計値）の食品ロスが発生しているが、私たちは未だ0.01%しか扱えていない。食品ロスの発生そのものを削減していく努力が求められるのはもちろんであるが、食品ロスが発生してしまう現状であるなら、それらを２HKへ託し有効に使うという選択肢を広く企業や市民にお伝えしたい。

（２）私たちの食品を必要とする方々へ届ける方法の確立
夏休みが明けて登校してくる子どもの中に明らかに痩せてくる子どもがこの京都でも発生している。また、近年でも府内で餓死者が出るという状況もある。
給食のない長期休暇中、希望される準要保護世帯に直接食品をお届けする「こども支援プロジェクト」をはじめ、更に行政や支援団体と協働し「フードセーフティーネット」の構築を目指していきたい。

（３）事業運営費の確保
食品の受入、食品の配送、どちらからも費用は徴収せずに活動する「フードバンク」活動は年間運営費を会員の会費と寄附を主な財源として活動しており、財政基盤が大変脆弱であるため、あらたな方法で財源を確保する必要がある

特定非営利活動法人セカンドハーベスト京都
〒600-8127 京都市下京区梅湊町83-1　ひと・まち交流館京都 2F
京都市市民活動総合センターNo86　（河原町五条下ル東側）
E-mail：info@2hkyoto.org　電話：075-343-7250　FAX:075-320-3765

このAnnual Report 2017は「公益財団法人 京都オムロン地域協力基金」からの助成で作成致しました。